

令和6年度事業報告書

特定非営利活動法人

サポートステーション Flat

1 活動の成果

利用者の方が自分らしく地域での生活を営めるように、居宅介護・重度訪問介護、生活介護事業を通じて福祉サービスの提供を行い地域生活の実現に向けて微力ながら貢献することができました。しかし人材不足な状況は続いており全てのニーズに対応できてはおらず、十分な支援が出来てはいませんでした。人材不足の改善努力は行っていますが、なかなか思うような結果は見え、今後も継続していく課題であるにとらえています。

今後も良い支援を継続して提供できるように職場環境などの整備を行っていき人材の確保に努めていく必要があります。

2 各事業の報告

1 ショートステイ事業

生活介護を利用されている方が制度外の対応として若干の利用がありました。当法人の福祉サービス利用者の補完的な役割としての利用のみとなりました。

2 居宅介護・移動支援事業

居宅介護は入浴介助や通院介助の定期的な利用が引き続き多くありました。通院介助で対応した職員から受診した状況などを聞き取り、利用者の健康状態の把握に努めた。

重度訪問介護は独り暮らしをしている3名の方への支援を行いましたが、夜間対応の職員の確保が必要な状態が続いています。新たに独り暮らしを希望している方がおり、計画相談事業所などと情報共有を行いながら地域で生活できるよう検討を行った。

移動支援事業については、求人広告を出すなど人材確保に努めましたが、応募がなく人材確保が困難な状況が続いており、現在の職員で対応できる範囲でのみのサービス提供となりました。

事業全体として介護職員の人材不足の状態が続いており、特に夜間対応の職員確保が最重要課題となっており、数名の介護職員の確保は行いましたがまだ不足している状況なので今後も定期的に採用活動が必要となっています。

3 生活介護事業

年度当初から職員1名を生活支援員として雇用し、利用者2名に対し職員1名の職員配置となり利用者への手厚い支援が提供できる体制をとることができました。豆腐の製造販売、畑での野菜作りと野菜の販売、軽作業（紙袋、スナップボタンなど）の授産作業を行いました。特に野菜の販売では農家の方から野菜の提供を多くしていただいたことに加え、野菜の品揃えを豊富にしたことにより売上が昨年度に比べて増加しました。毎月の工賃のほかに賞与を支給することができ、特に3月には多くの賞与を支給することが出来ました。レクレーションとして遠足や慰労会、忘年会などの各種行事を企画し作業以外にも楽しみを持って日々をすごせるように取り組むことが出来ました。祝日開所も継続して行い、生活のリズムを安定させる一定の効果があつたと思われます。